

北米合衆國に於ける幼稚園教育の理論及び實際

文學士 久保良英
ドクトル

幼稚園の數——幼稚園の種類——幼稚園の任務——保姆の資格——幼稚園の效果——幼稚園教育に關する原理——幼稚園協會

○幼稚園の數

北米合衆國に於ける最初の幼稚園は、千八百五十五年即ちフレールベルの死後三年目にウイスコンシン州のウオータータウン市に於てフレールベルの學徒カール、シュルツ夫人(Mrs. Carl Schurz)によりて開設されたそれである。其後十五年間に十個以上の獨乙幼稚園が、獨乙語を話す人々の組合の間に設立された。英語を話す兒童の幼稚園の最初

のものは千八百六十年ボストン市に於てエリザベス、ピーボディ(Elizabeth P. Peabody)によりて設立された。千八百七十三年にスーズン、イー、ブロー嬢(Mrs. Susan E. Blow)がハース氏(W. F. Harris)と共同でセントルイスに初めて公立幼稚園を開いた。これが動機となつてセントルイスは幼稚園教育の影響を引起す中心地となるに至つた。其の後漸次その數を増加し、千八百八十年には三十州に跨りて四百の幼稚園が設けられた。今千九百〇二年に於ける幼稚園數及び園兒數と千九百十二年に於ける其等の數とを比較を示すと次の如くである。

年 度	幼稚園數	園 兒 數
一九〇二	三、二四四	二〇五、四三二
一九一二	七、五五七	三三三、五四六

更に千九百年並びに千九百十年に於ける四歳より六歳までの兒童數及びこの一般兒童數と入園兒童數との割合を調べてみると次の如くなる

年度	四歳より六歳までの兒童數	入園兒童の百分率
一九〇〇	三、六三九、五八三	約五、
一九一〇	四、一五〇、三二五	約九、

○幼稚園の種類

亞米利加の幼稚園をその設立の方面より分類する時は、左の十一種に分つことが出来る。

- (イ) 公立學校系統の一部となれるもの
- (ロ) 教區の學校(羅馬カソリック派及び獨乙ルイテル派に屬するもの)
- (ハ) 一部は地方幼稚園組合によりて、一部は教育局によりて支配せらるゝもの
- (ニ) 地方幼稚園組合を通じて寄附せられたる金を以て支持せらるゝもの
- (ホ) 宗教宣傳の活動の一部として教會によりて

支持せらるゝもの

(ヘ) 居留民事務の一部として設立せられたるもの

(ト) 製造家又は工場主が社會福祉増進策の一部として設立せるもの

(チ) 孤兒院又は日中托兒所の手によりて支持せらるゝもの

(リ) 身體的又は精神的不具の學校の中にあるもの

(ヌ) 私立學校又は特殊の學校の一部となれるもの

(ル) 教育學を授くる大學及びカレッジ又は州立師範學校にあるものにして、之は一の實驗場ともいふべく、學生は其の觀察又は實地教授をなすの機會を有するもの。

次に其幼稚園教育の發達した順序からいふと、第一に富豪の子弟の爲めに多少一種の贅澤ともいふべき私立の幼稚園が設立された。次には慈善家

が貧兒又は顧みられなかつた子弟のために設立した幼稚園で、教會、寄留民團、幼稚園組合、工場主等によりて維持せらるゝものである。第三には幼稚園組合事業の發達の結果、保母養成の必要上その養成所が設けられた。第四に公立の幼稚園を設立し得る州の學校令が發布された。第五に地方に於ける教育課が、一部分、後には全部、幼兒の保育及び養護を司るやうになつた。最後に州立又は市立師範學校中に幼稚園保母養成所を置き之を完全なる正規の一部門とするに至つた。之を要するに最初は極く一部分に贅澤の爲め又は慈善的に設立された幼稚園が漸次發達して公衆の注意を惹くやうになつて遂に州の法令によりて公立のものとなり、又其等の特別の研究機關をも置くやうになつたのである。

○幼稚園の任務

幼稚園は家庭と學校との中繼をする所であると

はフレーベルの述べた所であるが、その中繼殊に幼稚園と小學校との間が旨く行かないとは一般に認められる所である。蓋し幼稚園は play 遊びの處で、小學校は work 仕事の所であるからである。今までは氣まゝに遊戯に耽つて居たものが、急に机に向つて一定の時間だけは几帳面に授業を受け、その授業も従來のものと異つて、讀んだり、書いたり、勘定をしたりするやうになるので、兒童の多くは小學校に對する興味を失ふやうになるものがある。それでは一方には全く幼稚園に入れないで、直接小學校に入れた方が結果がよいと主張するものがあるが、又他方には小學校に入學した兒童がどうも落ついて授業を受けないといふので一二月幼稚園に送り、それより小學校に取りもどしたら、すつかり善くなつたと報告するものもある。要するに幼稚園では自由開放主義であるのに、小學校では一定の目的に向つて誘掖指導すると云ふやうに制限的である爲めに、その間に間隔があるので

ある。フレーベルが読み方及び書き方を教ふるには兒童の自然的欲求の盛になつた時、謂はゞ習ひたくてたまらなくなつた時に教ふべしとは、彼がその書の中に擧げた話、リーナが其の母にせがんで漸くリテナ Tina の字を習つた例に見ても明か

である。この自然の成行に委せて無理をしないと
いふことは、蓋しルソーの教へ方で、その方法を實際に行つて居るのはアルバマ州フェアホープのジョンソン夫人である。同夫人の設立して居る學校は小學校で幼稚園ではないが幼稚園の教育法を小學校にも採用したのである。即ち同夫人の主張する所に依ると、兒童をして自由に楽しく學業を勵み、身體も精神も、不合理な束縛を與へられることなく、伸びゆくして成長するやうに教育するといふことで、第一に教科書のやうな形式的で融通の利かないものは初年級には用ゐないことにして居る。文字の読み方も九歳乃至十歳以前には教へないし、書き方も綴字も同様である。然らば

ジョンソン夫人の學校の兒童の讀書力は非常に劣つて居るかといふに、最初の間こそ教へないから劣つて居るが、十二歳頃になると普通の小學校兒童以上に讀書力が發達するといふことである。

かやうな新施設に就ては尙多くの研究を要する事で直ちに各州の公立學校に採用するといふには種々の異論が起つてくる。それでジョンソン夫人程極端に改良を施すものはないが多少從來の規則に變更を加へて、小學校と幼稚園との間隔を塞がうとする企ては諸所に起つて來た。例へばケンタツキーのレキシントンではモンテッソリーの方法を採用して小學校と幼稚園との間隔を塞ぐ様にして居る。又或る所では小學校八ヶ年を九ヶ年として六歳の入學期を五歳とし、最初の一年を豫備學級として幼稚園と小學校とを混合したやうな教授をして居る。或所では毎日の課業を二分し、同一の兒童を午前科と午後科とに出席せしめ、午前には純粹の幼稚園の作業を課し、午後には小學校の第一

學年の初歩の課業を授くるやうにして居る。或は幼稚園児を二分してA組とB組とし、午前にはA組とB組とに、共に幼稚園の作業を爲さしめ、午後にはB組にのみ第一年度の課程を教へる。併しこの制度は保母を多く使ひ過ぎるといふ非難がある。即ち以前は午前だけ幼児の保育に従つた時代には、午後は幼児の家庭訪問、母の會、又はその他自己の研究に資する會合又は學校に行くことが出來たが、かやうに午前と午後とに出勤しなければならぬやうになると、その隙がなく、是等の仕事は學校醫、看護婦、母の會、父兄及び教師の會の手に移され、自身の修養も出來なくなるといふのである。それで或市では午前午後の科を設けたが又元のとはり午前だけ出勤するやうな舊制度に還つたといふことである。

或る市にては又一年を二期に分け、最初の二十週間を幼稚園とし、後半學期を一學年の豫備として居る。或は六才又は七才になれば必ず小學校に

行くべしとは規定せず、教師又は父兄の見込によりて、幼稚園に止め置く方がいと考ふる場合には、尙半年なり一年なり、幼稚園に留め置く様にして居る所もある。この方法は教師又は父兄の兒童の身體及精神に對する鑑識力が發達して居ない場合には、往々正當安全なるより、多くの日數を幼稚園に暮さなければならぬやうな危険を幼児の上に生ぜしめる場合が豫想せらるゝけれども、先づ適當な方法として採用されて居る。

○保母の資格

合衆國は各州その法令を異にして居るので、總括的に云ふことが出來ない。しかしその主なるものを列記すると左の一に該當するものが嫁母たるの資格を有することになる。

(イ)保母養成所卒業のもの、

(ロ)ハイスクール卒業後二年乃至三年間幼稚園にて實地の經驗のあるもの、

(ハ)教育局にて施行せる保姆試験に合格せるもの、

(ニ)小學校教員免許狀を有するもの、

(ホ)カレッジ又は師範學校を卒業せるもの、

之を要するにハイスクール卒業後少くとも二年

間の専門的課程を卒へたものが保姆となるやうである。しかしその程度も各州まち／＼であるので之を統一し、一定の標準を立つることが急務であると絶叫する人も尠くない。而して現時保姆が知つて居らなければならぬ事項は大凡そ次の各項であると考へられて居る。

(1)生理學及び心理學の方面より見たる兒童身心發達の研究、

(2)幼稚園を如何に發達せしむべきかの方法並に理想の研究、

(3)保姆をして幼稚園に於ける作業を習熟せしめ且つ小學教育に對し兒童をして準備をなさしむる諸事項の研究、例へば音楽、技藝、文藝、自

然に關する研究、

(4)幼稚園に關する原理を悟得し且つ其を充分に適用するに至るべき實際的敎授、

(5)幼稚園と小學校との關係、幼稚園と兒童の母並にその環境との關係に就ての研究、

(6)保姆自身の進歩を促すべき諸事項、例へば作文、表情、公衆に對する演説、家事科等の研究、

此等の諸事項を修得するのには、ハイスクール卒業程度を基礎とし、その上に幼稚園敎育に關する理論及實際を授けなければ不充分であるといふことは、殆んど一般に認められる所で、ハイスクール卒業後、保姆養成所に入學するやう規定せらるゝ都市が尠くない。ハイスクールといへば小學校八學年を修了したる後入學する所で、三ケ年乃至四ケ年の課程である。その後保姆養成所が二年乃至三年とすると、小學校に入學してから十三年乃至十五年の修業が無ければ保姆となれない譯で、従つて我國の保姆資格を得る年數よりも多い

ことになる。而してその保姆養成所は最初幼稚園組合の設立にかゝるもの又は私立のものゝみであつたが、今では州立又市立の師範學校、カレッジ、大學の一部分となる所が多く、その傾向が増加して居るのは社會一般に幼稚園教育の必要を認め優良の保姆の必要を感ずるに至つた結果である。

○幼稚園の効果

幼稚園教育は果して効果があるか否かに就ては、今尙議論のある所で、一方には無暗に其の効果を推賞するものがあり、他方には全く其の價値を疑ふものがある。併し幼稚園の數が年々著しき割合に増加し行き、且つ公立學校の一部と認めらるゝようになるのを見ると、慥かに幼稚園教育の効果が認められつゝある一の證據と云ふべきである。今北米合衆國教育局で、各都市の督學官長、小學校初等科の視學、及び小學校初等科教員に手紙を送りて、其の效果に就て答案を求めた結果を

總括的に示すと次の如くである。

先づ幼稚園教育の長所とすべき點は、

(1) 社會的本能が著しく發達し其働的動作に熟練せること。即ち園兒相互に睦ましく遊戯し作業すること。

(2) 自己にたよる力が發達せること、即ち自分で工夫し案出する力に富むこと。

(3) 注意集中の力が發達せること、即ち教師の言動又は教室内の作業に注意する習慣が早くより養成せられて居ること。

(4) 手工、唱歌、遊戯に熟達せること、

(5) 數、形、色に關する知識が發達せること。

(6) 自己發表殊に言語による發表が發達せること、(これは殊に移民の兒童即ち兩親が英語を話せない子供は幼稚園に入れると早く言語を覺え小學校に入學する際には先づ差支ない位に話すやうになるのである。)

(7) 教師に對する、又は教室内に於ける躰の宜

しきこと。即ち教師の命令に従順で、且つ利口に相當に動作すること。

(8) 學校に對する興味強盛なること。

之に對し其の短所とする點は次の如くである。

即ち、

(1) 教師にのみたより、獨力で作業する精神に乏しくなること、

(2) 幼稚園にありて氣まゝに遊びたる習慣ありて教室内にも作業に對し、兎角不眞面目なること、

(3) 注意散漫の傾あること、

(4) 多辯なること、

(5) 教師を遊び對手のやうに考へ、不從順に傾き易きこと、

(6) 規則正しき學科に對し興味を缺けること、
今この長所とする所と短所とする所とを比較するに、一方では善いといふのを一方では惡いといつて全く相容れない點もあるし、又一方に長所と

せらるゝ點が過ぎて却て短所となつた點もある。かやうに諸種の弊害があるから、若し主婦が充分に幼兒の養護をなし得る餘裕があるならば、却つて幼稚園に入れない方が其の結果は良好である。しかし兩親の無い孤兒や、兩親があつても幼兒の身心の發達に對する智識に缺くるか或は智識があつても、家庭の事情、例へば貧困の爲めに之に留意するの餘裕のないもの、或は英語の話せない移民の兒童に對しては幼稚園教育が必要であると主張する者も決して尠くない。今前に列記した長所短所を善く吟味して見ると、一方に保母その者の宜しきを得、又他方に第一學年擔任の教師その者の宜しきを得れば、益々幼稚園の長所を發揮し、短所を芟除することが出來さうに思はれる。それは幼稚園の効果を認むる有識者が漸次増加しつゝあるに徴しても明かである。

○幼稚園教育に關する原理

今茲にフレーベルの幼稚園教育に關する原理並びに實際的方法を紹介するの要はない。たゞフレーベルの思想が合衆國に輸入せられてから、どんな風に變化したか、又如何なる新しき思想が附加せられたかを簡單に紹介しやうと思ふ。近時に於ける兒童に關する智識の發達並びにフレーベル時代の思想と現時の思想との相違よりして、フレーベルの恩物は幼兒に對して、餘りに制限的であるとか、その原理は神秘的で實際に通用せしむべく困難であるとか、もつと物語を奨勵すべしとかいふやうな批評が下されるやうになつた。併し尙保守的にフレーベルそのまゝの思想を宣傳しつゝある教育者もある、それは獨乙の理想主義の影響を受けた、つまりカントやフイヒテやヘーゲルあたりから脈を引いてゐるブロー女史及び同女史の後進等である、是等の人々は後方のみに注意して、チツトも前方を見やうとしないものであるから稍時代おくれの感がないでもない。これに對してフレ

ーベルとは多少異つた方法を採用して居る所謂新教育なるものがある。次ぎにはこの新教育を少しく説明してみやう、今便利の爲めに是等の説を大別して次の四種にすることが出来る。即ち(一)中心主義、(二)自由遊戲主義、(三)産業主義、(四)自動主義が之である。

(一)中心主義教育法は凡ての活動が一の中心を有してゐて、恩物、作業、遊戲等はその中心題目を説明する爲めに使用せらるる如き方法を云ふのである。紐育市のベトリア俱樂部にて五十弗の懸賞を以て募集された教案の如きはこの好例である。今その第一日の教案を擧ぐると次の如くである。その題目は例の黒奴開放で有名な大統領エブラハム、リンカーンである。

朝の話、ケンタツキに於けるリンカーンの生家、リンカーンの母、インディアナに移轉、三方が壁になつてゐる小屋、エーベの木の葉で出來た寢床、親切なる繼母、學校時代、貧困なるに拘らず

彼の父が自重心、歡待の念に富むこと、如何に數學の問題を解決したか、如何に書方を習つたか、最初の金儲け、彼の平たい小舟、

恩物、(一)三方が壁になつてゐる小屋、(二)シヤベルとエブラハムの四個の愛讀の書、(三)平たい小舟、(四)彼が働いた爐、(五)彼が隣人に宛てた手紙

作業、切り又は糊づけする、シヤベルの形に紙を切りとり、板紙に貼る、リンカーンが困難な仕事を忠實に勧めたことを話す。

かやうに或一定の題目が各種の恩物、作業、遊戲の中心となつて居ることは、非常に面白い考へであるが、ブローの云つたやうに心理學上、重大な誤謬に陥つて居る。この主義は元來ヘルバルトの考から出たもので感情や意志よりも知識を重んじ、又その知識は諸種の分子の綜合構成の結果であるとして、兒童の精神發達を度外視し、大人の頭で合理的に構成した知識を、外部より兒童に注

入しやうとする缺點に陥つた。ホルルの云つたやうに兒童は民族發展の歴史を繰返すもので、決して、最初から高等の思想や情操を有して居ないから、この中心主義教育方法は正しいものとは云へない。

(二)自由遊戲主義の教育法はルソーの思想を幼稚園に流入したものである。兒童は教師によりて規定された目的の爲めに行動を制限せらるゝのは兒童身心の發達に害を及ぼすものである。彼等の欲するまゝに自由に遊び、作業するやうにすべきである。兒童の精神を觀察すれば、フレールを用ゐた色紙や形に對し興味を有することなく、もつと具體的のものが興味を中心となる。又手さきのみを動かす運動は身體の發育に害がある。もつと原始的な粗雑な筋肉が最初に發達するから、其等の筋肉を動かす遊戲や運動を獎勵すべきである。例へば毬投げ、石投げ矢を射ること、ウオークダンス、マーチ、戦争ごっこ等の原始的でしかも

全身を動かすやうな運動が宜しい。發生的見地より兒童の心理状態を研究する學者にこの考を有するものが多い。かの有名なスタンレーホール

の如きはその主張者の一人である。氏は又嘶をも奨勵し、その題材も、兒童は野蠻人の精神と同じく、原始的の神話が彼等の興味を惹く。兒童は又最初動物に對し興味を有し、漸次に植物、無生物、抽象的事項と彼等の興味は移つて行く。自然現象も兒童の注意を惹くことが早く、空、星、月、電霆、雲等を彼等は驚異の目を以て見る、それでの順序に彼等に知識を與ふるやうにしなければならぬ。従つて幼稚園の保姆たるものもつと自然に關する研究を積む必要があると述べて居る。要するに此の主義では恩物でも、遊戯でも、もつと種類を多くし、自由に彼等の選擇に委せて彼等の身心の發達を計るやうにせよといふのである。

この主義が實際的に行はれたのはカリフォルニアのサンタバルバラに於ける公立幼稚園であつ

た。今、月曜日に於ける幼稚園日記を述ぶると次の如くである。

『愉快な朝だつたので戶外でマーチをしたり唱歌を謠つたりした。一人の子供が組長に選ばれ他の生徒は之に従つた。單列になり複列になり直線になり、圓形になり、早く歩み、又は遅く歩んで行進した。其後兒童の小さき脳髓によりて案出された行進法をやり、又自由に選んだ唱歌をしたり、兒童が任意に自己の好きの歌を謠つたりした。

九時三十分になりて教室の方に行進し行き、室内にて坐席を取る。いつもの朝の嘶をなす。嘶は「狼と鶴」と云ふのであつた。兒童に狼と鶴の色附繪を示した。話しの後子供等は紙にその繪を書いた。後五分の間隨意に兒童をして黑板に繪をかゝしめた。

十時五分より十時二十五分まで休みを與へた。

例の如くフットボール、砂弄り、ブランコ、高飛等をなさしめた。中略

十時五十分より十時五十五分までは拔萃帖を眺めさせ各自自由に話をすることを許した。

十一時五分より十一時二十五分まで休み

十一時二十五分より同三十分まで坐席の方へ行進をした。

十一時半より同五十分まで幼稚園の遊具を各自の選擇に委せ取出して遊ばしむ

十一時五十分より十二時まではその遊具をしまわせ、唱歌を歌はせて退散せしめた。』

しかし自由遊戯主義に反對するもの、例へばブローの如きは批評を下していふに、子供は民族の歴史を繰返すものであるといふことから、單に本能に基づく粗雑な遊戯を奨励し人間の理想や價値を顧みなくなると、子供の行動は向上純化せらるることなく、益々野蠻的行爲に墮落するようになり、従つて眞の意味の自己活動が出来難くなる。要するに人生の價値といふことを教育の目的より除去したならば、教育は何等の價値もないことに

なると。勿論極端な自由遊戯主義はよくないかも知れない。しかしホルルの考は兒童をして何時までも本能的遊戯に耽けらしめよといふ意味ではない。兒童が本能的に行動する時季から、已に成人と同一の思想や行爲をなすものと假定して、教育せらるゝのが宜しくないと排斥したのである。兒童は最初本能的行動に富み叡智的行爲に乏しいから、最初はその本能的行動を充分利用して身心の完全發達を計り、且つ之を叡智的行爲に導くやうにしなければならぬ。要言すれば兒童の身心の發達に想應した教育をなし、彼等の完全發達を計るやうにすべしとの主張に過ぎない。

(三)産業主義の教育法は、前の自由遊戯主義が幾分個人の發達といふことに重きを置いたのに反して、社會協働の精神を充分に養成し、個人は社會の一員として働くやうにしなければならぬといふ風に社會並に産業を非常に重く見るのである。従つて幼稚園も學校も一つ小社會と看做し、且つ

出来るだけ是等を社會化し、以て他日の準備にするのである。この産業教育を發生的見地より出立したものはドツプの主張する所のそれである。ドツプ(K. E. Dopp.)は現時社會の發達を研究し、原始民族の社會に於て最も興味を中心となり、且つ長く續いた活動は家事的工業であつたことを發見し、その本能的行動は又現時の民族にも其の幼少の時に現はれるものであるといふ考から、兒童の作業としては、料理、洗濯、掃除、等が最も適當し、それより、漸次諸種の實業に導くべきであると主張して居る。家政的遊戯に兒童が興味を有することは、ドツプの云ふ通りであるが、斯様な極めて狭い範圍に兒童の活動を制限するといふことは果して教育上宜しきかといふことは疑問とせらるゝ所である。次にこの實業的原理を尙一層擴大したのはデュウイー及びその學徒である。

デュウイーによると幼兒の大切なことは彼等の身體的機關を外界事物に對して旨く調整して行く

ことである。従つて彼は最初下等動物が出立した所をも學ばねばならぬし、彼の目と手とを如何にせば同時に旨く働かすことが出来るか、又目と耳とを如何にせば共に働かすことが出来るか、又彼の身體的機關によりて外界事物を如何にせば旨く取扱ふことが出来るかを實地の試験によりて發見體得しなければならぬ。次に幼兒に向つて最も大切なることは他人と共に生活して行くことである。従つて彼は自己の行動を旨く調整して社會に順應するやうに教育せられなければならぬ。故に兒童に與ふる材料も兒童の身體的統御と社會的順應との見地から選擇しなければならぬと主張して居る。

この實際的生活に對して自己の行動を統御順應せしむるといふデュウイーの思想は紐育のテイチャースカレッツチ附屬幼稚園の實業的遊戯に於て最もよく表はれて居る。同幼稚園は其大學の幼稚園部長初め、凡ての保姆がデュウイーの思想を受け

ついで實際に行つて居るので誠に參觀しても興味のある所である。今一例として作業の一部を示すと次の如くである。

茲に水車小屋を作らうとすると、先づ實際の小麥や玉蜀黍の粉を入れる袋を作らせる。水車小屋が川の側にあるとすれば、川を白墨で以て床上に畫いてやる。そこに一の問題が起つてくる。それは即ち橋を架けるといふことである。只橋を作る材料を以て來て今から橋をかけやうといふのは全く違つて居る。同一の題目でもその提示の仕方で社會的效果に大なる差が生ずる。兒童はこの際自己の作業の目的を知つて居る。而してその目的に適應するには如何なる材料如何なる作業をなすべきかを判斷し、實驗することが出来る。兒童は爲めに教師から橋はこんなものだと注文的に話されて不明瞭な觀念を得るのと異なり、實際に車を曳いてその橋を兒童が渡らなければならぬ。而してこの幼稚園にては床板に用ふる板が用意してあつ

て、その板は兒童が車や玩具の人形をのせながら曳いても折れない位厚い丈夫な板で出來て居る。かくして實用に適する橋が架けられるのである。

此の他小屋を作るにも、物置を作るにも出來るだけ實際的にして、兒童が自由にその家に入出入して玩具の人形、家具、家畜等を排列し得るやうにするのである。而してその出來上つたものも、實用に適するや否やが直ぐに判明するから、兒童は種々に工夫し訂正するやうになる。かのモンテッソーリが兒童教育の本旨は自分で訂正し工夫して行くやうに兒童を振り向けるやうにせなければならぬと主張して居るが、モンテッソーリの用具は社會の實生活と沒交渉の處がある。

然るにこの幼稚園のやり方は人生に觸れて居るから、兒童は實際の目的に適するや否やを實際生活の上から判斷し各自に訂正工夫するやうになるのは當然のことである。又モンテッソーリの用具は一定の制限があつて、その中から兒童が其の好

む所に従つて選擇し得る自由が與へてあるとて、其の自由といふことを大きく云つて居る。しかしモンテッソリーの兒童は與へられた玩具を見て初めて引起された現在の衝動から或種の玩具を選擇といふ外別に兒童の選定を教育的に指導する所がない。之に反してこの幼稚園のやり方では實社會に觸れた問題が不知不識の間に提供され、兒童が自然に或る材料を選擇といふことが已にその問題の解決の第一歩で、其の解決が當を得て居るか否かは、眞に實用的に分かつてくる。

この社會的産業的教育法は慥かに進歩した考方であるがブローの云つたやうに人生と産業とを共立的術語のやうに考ふるは如何であるか。又餘まりプラグマチックに傾き過ぎて居る。兒童の精神を觀察して見ると、非常に想像力に富み、神話、お伽噺を好むものである。この社會的教育法にてはかやうな想像作用の方面を閉却して居るといふ嫌があると批評せられるのである。

最後にモンテッソリーの唱導した自動主義の教育法であるが、その方法に就ては今茲に管々しく紹介する必要はなからうと思ふ。只茲には實際家並に理論家によりて下された批評を紹介しやうと思ふ。モンテッソリーの方法は本國の伊太利では殆んど閉却されて居るし、又同女史の經營する子供の家も餘まり隆盛でないといふ點から、頭から排斥し去るのは當を得て居ない。私はモンテッソリー女史の演説をもきき、又その方法を行つて居る幼稚園の教育をも參觀したが、舊來の法よりも大に勝つた所が多い。米國ではモンテッソリーの遵奉者が多いだけに又一方に批評も大分に多い。

先づモンテッソリーの方法では感官の習練といふことを唱道する。所が感官が習練されると、恰も望遠鏡のレンズを改良するが如くに、眼や皮膚や耳が發達するものなるや否といふことが現時の心理學及び生理學では未だ判然して居ない。發達するといふものと發達しないといふものがある。

發達しないといふ説は更に二つに分かれる。即ち

其の第一の方の説によると、例へば眼を練習することによりて望遠鏡のレンズを改良する如くに眼そのものを改良することは不可能であるが、しかし兒童が或一部の事を辨別する様に練習せらるゝときは他の辨別作用の時もその練習の効果が表はれる。例へば鳥を観察するやうに練習されたものは木や家をより善く觀察することが出来る。即ち一部の練習が全部の能力に移つて行くといふのである。第二の方の説は一部の練習は一部の練習に止まつて居て、全部の練習とはならないといふのみならず、又此の一般的能力といふことをも否定して居る。而して近時の心理學者は此説に傾くものもある。處がモンテッソーは此の方向の心理作用を明かにせず、只感官教育の目的は單に兒童をして色、形事物の種々の性質を知らしむるに止まるものでない、彼等の感官を改善すると云つて居る。果して同女史のいふ通りであるかは既に

述べた通り疑問である。

次にモンテッソー教育法中最も主要の點となり、且つ稱贊を受けて居るのは自由の原理である。從來の幼稚園では一定の教案があつて、兒童は教師の提醒によりて、其の方向に導かれるのであるが、モ女史の方法にはこんな細かな教案はなく、兒童が自分の好きな道具を出して自由に遊ぶやうになつて居る。しかしその選擇に供する材料には制限があつて、フレーベルの材料よりも遙かに數が少ない。而してその選擇された材料では充分に兒童の自己發展をなさしむるに足りない。例へばモンテッソーの教室を參觀すると圓筒を板上の穴に入れることをせず、之れを車の代用にして居る子供があり、又色糸をまいてある糸巻きで家を作らんと試みる兒童もあるといふ風である。この自由の原理と關聯して居るのは自己訂正の原理である。これも材料の不完全の爲めに充分に行はれ得ないことは既に述べた通りである。

次にモンテッソリーの教育法は個人の發達といふことのみ主としてゐて、社會の共同生活に順應するやうに兒童を教育することを、念頭に置いて居ないやうに見える。尤もフレベールも團體本能が發達して、相互に幸福に生活するに至るまでは充分に個人的發達に注意すべしと言つては居るが、その團體的本能をモンテッソリーほど無視しては居ない。

又モ女史の教育法で文字をよみ、書くといふことを早くより獎勵する點は往々批評の的となつて居る。實際家の言によると同女史のいふやうにそんなに早くから文字に對する興味が起らないといつて居る。尤も伊太利語と英語の文字の構成法が異つて居るから、同女史のやうに米國では耳にてきくことゝ、口にて云ふことゝ、手にて書くことゝ、を同時に教ふることが出來ないといふ困難がある。

次に同女史の教育中最も大なる缺點とする點は

お嘶の時間がないといふことである。お嘶の大切なことは前にも屢々述べた通り幼稚園教育者が觀過すべからざる點である。

最後にモンテッソリー女史の態度が不明なのは宗教教育に關する點である。これは同女史も解決が充分につかないと見え、同女史は次のやうに述べて居る。『子供を自由に幸福に且つせわしくして置けば、兒童の宗教的精神は自然に内部から、恰も花の咲くやうに、咲いてくるものである』と。しかしこゝに疑問となるのは、この宗教的萌芽に對して、適當の肥料を與ふるの必要がないか。殊に兒童を觀察して居ると神や自然現象に對して質問をすると屢々である。これに對して母や嫁婦が全く不關焉として居ることは正當であるか否かといふことは教育上重大な疑問である。

これで現時米國に行はれて居る幼稚園教育に關する理論と其の批評との大體を紹介したが、最後に一寸附言したいのは幼稚園協會の事である。

○幼稚園協會

米國には三個の大きい幼稚園協會がある。萬國幼稚園組合(International Kindergarten Union)國民母の會(National Congress of Mothers)と國民幼稚園協會(National Kindergarten Association)とである。

(一)萬國幼稚園組合は創立後二十年餘も經過し幼稚園の改良進歩に盡す所多く、殊に優良なる保母を養成することに力を用ひ、毎年に行ける會合には又幼児教育に関する報告及討議が行はれる。又モンテッソリー式とフレールベル式との比較を實驗的に研究したる結果によると、モンテッソリーの方法も大に長所があつて、米國の幼稚園に採用するの餘地があるとは多數の人の意見であつた。

(二)國民母の會も亦幼稚園の發達を計る爲の會合である。元は幼稚園の教師が母の會に行つて漸く家庭と學校との聯絡を取つたのに、今は母の方

でも能動的になつて來た。或市の如きは、母の俱樂部又は保護者教員會ありて幼稚園設立に盡力し又は市が幼稚園の價値を認めて公立のものを設立するまで幼稚園を經營維持して居るものすらある。又母の會では子供の福祉を増進することに留意し、社會事業家とも共同して著しく其効果を擧げつゝある。

(三)國民幼稚園協會は最も近年に設立されたものである。幼稚園の利益を鼓吹する事に全力を注いで居る。而して數の上の發展計りでなく質の上にも改善を計りつゝある。而してこの協會は合衆國教育局の幼稚園部と共同して其の事業を經營して居る。(文責在記者)